

日本電熱は、創業以来70年超にわたり電気ヒーター部品・ユニットや各種応用製品を手がけてきた。ホットプレートユニットなど液晶半導体装置向け製品が全体の約7割と主力だが、このころは自社製品として蒸気発生装置である電気式簡易貫流ボイラ「エコフット」の拡販に注力する。現場に直接設置し、手軽に蒸気を利用できる利便性が注目されている。

同社が、電気式ボイラの開発に取り組んだのは20年以上前にさかのぼる。だが、目に見えて商談が動きだしたのはおよそ10年前。この頃発売したエコフット

## 日本電熱

# モノづくり現場

生産革新・脱炭素社会への挑戦



⑧

## 電気式簡易貫流ボイラ



トは、従来型に比べ約半分は小型化。これまでの10年間で売れたのは全部で20台程度。直近10年の累計販売数は200台超。さらに近頃、引き合いが増えつつある（日本電熱）。

## 手軽に設置、小型化追求

のコストに加え、オン

デマンドに対する稼働率などを考えると、非効率性も指摘される。

エコフット導入のメリットについて同社は「電源と水系統があれば必要な場所に直接設置できる手軽さ。起動時間も10分程度。専門の管理者が不要な上、ボタンのオン・オフで誰でも操作できる。音も静か」と強調する。

電気式簡易貫流ボイラ「エコフット」

【企業データ】所在地：長野県安曇野市三郷温3788、0263・87・8282 主要品目：産業機器、家電機器

エコフットは病院向けの各種器具などの滅菌用途として、日本全国で50件以上の施工実績を持つ。水溶性クリーン用いた切削加工後の洗浄やメッキ槽の温調のほか、ビル空調の加湿用途などでも使われる。

変わった導入例では、温浴施設のサウナなどで蒸気を追加発生する付帯設備としても使われている。エコフットは1時間当たりの蒸気発生量が

（諏訪支局長・岡部 正広）